**【調べ学習レポート】**

**テーマ「環境問題」**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業 | ポイント | 使える資料 |
| ①テーマを絞る  （表紙）  ｢？？？」  年　　組　　番  氏名 | **与えられた課題についての基礎知識を深めるため、百科事典などでテーマを調べ、より具体的なテーマを見つける！知っていると思っていることでも、新たな発見が!?キーワードを書き出すとわかりやすい。**  『環境問題』にはどんなものがあるか？ | 百科事典  百科事典には基本的な事柄のほか、歴史的経緯、社会的背景などが簡潔にまとめられている。“索引”を引くと関連用語もチェックできる優れもの。  用語辞典（事典）  国語辞典やキーワード辞典、外来語辞典、専門用語辞典など。  様々な事柄を表す言葉を集めて解説した本。 |
| ②さらに絞る  （序論：レポートの導入）  ・全体のテーマ  ・全体のテーマの中から  自分が選んだテーマ  ・自分がそのテーマを  選んだ理由  ・自分のテーマをどうやって調べるか | **大きなテーマの中から自分が調べたいと思ったことや気になった事柄について、調べてみる。気になった事柄の問題点や調べてみて疑問に思ったこと、もっと詳しく知りたいことなどを書き出してみると、テーマを絞りやすくなる。**  『地球温暖化』とは？　⇒　「人間の活動により温室効果ガスの濃度が増加し、地球の表面温度が上昇すること」  何が問題なのか？　　⇒　地球の表面温度が上昇  ⇒　洪水や干ばつの増加、農作物や生態系への影響が懸念される。  解決するには？？　　⇒　温室効果ガスの濃度を安全な水準にすればよい。  ⇒　石油にかわる新たなエネルギーとして  バイオマスエネルギーが注目されている。  **でも・・・バイオマスエネルギーは、現実的に大量のエネルギーを生み出し続けることができるのだろうか？** | 百科事典  用語辞典（事典） |
| ③テーマを決める  （表紙）  ｢バイオマスエネルギーは  地球温暖化を防げるか？」  年　　組　　番  氏名 | **疑問に思ったことやなるほど！と思ったことを自分のテーマにする。** |  |
| 作　業 | ポイント | 使える資料 |
| ④データを集める  一つのテーマに対して、異なった論説がある場合は、読み比べてみる！ | **テーマを論じるにはどんなデータが必要か、を考えながら資料を集める。**  **このとき、いきなり専門書を手に取ると、難しすぎたり、問題のポイントが把握しづらかったりするので、百科事典や用語辞典を活用する。**  バイオマスエネルギーとは何か？  　＊ バイオマス＝生物体  1961年アメリカの化学者メルビン・カルビンによって発案された。  　　　1978年の第二次石油危機を契機にバイオマス利用に関する研究が進ん  　　　だ。特にバイオマス利用に関心が深い国  ＝東南アジアやアフリカの非産油開発途上国  【世界大百科事典/平凡社/2006/第22巻ｐ.304】  　＊ バイオマスエネルギー  　　　バイオマスを原料として得られるエネルギー。生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの。廃棄物系（わらや家畜のふん尿、生ゴミなど）と栽培作物系（サトウキビやトウモロコシなど）に分けられる。  【現代用語の基礎知識2008/自由国民社/2008/p.780】  　＊　バイオマス・ニッポン総合戦略  　　　バイオマス･ニッポン総合戦略推進会議。2002年に農林水産省、経済産業省、環境省など関係省庁が協力し、バイオマスの活用推進のための具体的な取り組みや行動計画を閣議決定、発足した。  【現代用語の基礎知識2008/自由国民社/2008/p.778】  地球温暖化のしくみ  温室効果ガス（CO2、水蒸気、メタン、オゾンなど）は地表から放射される熱を吸収し、さらに熱を再び放出して地球を温める。人間の活動によりCO2が多く排出され続けた結果、温室効果ガスの濃度が高くなり、温暖化が進んだ。　⇒　人間活動によるCO2排出が原因！【ｉｍｉｄａｓ2007/集英社/2007/p.920】    地球温暖化の現状    　　“人間活動によるＣＯ2排出が続けば、生態系に深刻な影響を与える。”  【気候変動に関する政府間パネル第4次評価報告書】  地球の温度は上昇しているが・・・。　　【年鑑や気象庁データや統計など】  温暖化とＣＯ2の関連は？  温室効果ガスの濃度も上昇　　⇒　温暖化と二酸化炭素は大いに関係あり!?  【『気象年鑑』・『理科年表』・『環境統計集』など】  対立する論説の比較  　　地球温暖化の原因は温室効果ガスだ  　肯定派・・・ＣＯ2が主な原因  　　　　　　　否定派・・・太陽エネルギー・雲（水蒸気）などが原因ｏｒ自動変動  バイオマスエネルギー（再生可能エネルギー）の導入状況は？  ⇒　日本の導入率は、石油換算で全体の4.3％にとどまっている。  【『世界統計白書』『外務省エネルギー基礎統計』など】  バイオマスエネルギーの現在  石油エネルギー残量を元に考える、石油資源はあと40～50年で枯渇する。【『資源エネルギー年鑑』】  　　　⇒　導入率こそ低いが、依然高い注目を集めている。  バイオマスエネルギー導入のための最近の取り組み状況  岡山では真庭市が木材を用いたバイオマスタウン構想を進めているほか、東京あきる野市、名古屋市、青森県五所川原市など、日本各地で取り組みが進んでいるほか、2008年2月にはＣＯ2削減全国大会が行われた。  【新聞記事、雑誌記事、学術論文など】 | 用語辞典（事典）  年鑑・統計  一年間の事件や統計などの情報がまとめられた資料。総合的なもの、専門分野に関するもの、特定の地域に関するものなどがある。  白書  政府の公式報告書。  最近では各省庁のHPから見ることができる。民間団体が調査報告書に「白書」とつけることもある。主に現状、課題、施策、関連する統計データなどが掲載されている。  Web検索  インターネット上に公開されたウェブサイトを検索する。Web検索では簡単に、様々な情報にアクセスできるが、情報量は膨大で、その質も定かではないため、取り扱いには注意が必要。ちなみに、信用性が高いと思われる（ドメイン取得に一定の条件が必要とされる）サイトのドメインは･･･  「～.ed.jp」「～.ac.jp」「～.go.jp」「～.or.jp」「～.lg.jp」「～.gr.jp」「～.co.jp」など。  専門書  専門家の書いた資料。立場や考え方のちがいにより同じテーマを論じていても内容が同じとは限らないので、複数の資料を見比べてみることも大切。  新聞記事  日々の事件や社会問題などについて具体的かつ最新の情報を知ることができる。過去の記事を原紙から探すには時間がかかるが、多くのメディアがデータベースを構築している。  雑誌記事索引  過去にどのような学術論文や記事が掲載されたかを調べることができる。図書に比べ情報がはやい。国立国会図書館をはじめとするオンラインデータベースで調べることもできる。 |
| 作業 | ポイント | 使える資料 |
| ⑤本論をまとめる  （本論：本文）  ・自分のテーマについて  仮説を立てる  ・集めたデータを元に自分の仮説を証明する  ・仮説に対する答え、結論を述べる | **文章や図表などを引用するときには、どの資料のどこから引用したか、その都度記録をとりながら行う。**  **自分の意見と他人の意見を混同しないように注意する。** | ①～④で集めたデータ |
| ⑥結論をまとめる  （結論：レポートのまとめ）  ・全体のまとめ  ・自分のテーマについての意見、今後の課題 | **本論を受けて、全体の総括を行う。**  **本論に基づいて、自分の意見をまとめる。**  **自分のレポートを客観的に評価する** |  |
| ⑦参考資料の記録を整理する  （参考資料リスト  ：レポート作成のために利用した資料リスト）  ・書籍  （書名、著者名、出版社、出版年、参照ページなど）  ・雑誌、新聞記事  （誌名、日付、掲載ページ）  ・ｗｅｂ  （ＵＲＬ、情報発信者、アクセスした日） | **自分のレポートが何を根拠にしているか、明らかにする。** |  |